第 79 回

早慶卓球

定期戦

2022 年 6 月 26 日

早大練習場

第 79 回早慶卓球定期戦を迎えて

慶應義塾大学卓球部　部長　平野　隆

本日、第 79 回早慶卓球定期戦が開催される運びとなりましたことを、大変喜ばしく存じます。

1942（昭和 17）年以来の長い歴史を誇る本定期戦ですが、ご存じの通り、一昨年および昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な制約の中での開催となりました。しかし、リーグ戦が中止になるような異常事態であっても、この定期戦だけは途切れることなく開催されたことは驚嘆に値します。それを可能にしたのは、両校の間の固い友情と「早慶戦だけは特別なのだ」という選手、OB・OG の皆さんの熱い思いであることは言うまでもありません。

コロナ禍もようやく終息の兆しを見せ、徐々に通常の生活に戻りつつあるとはいえ、両校とも練習環境にはまだ様々な制約がかかっていることと思います。本日は、両校選手諸君がそうした環境下でそれぞれに創意工夫した独自の練習の成果を発揮して、コロナ禍の鬱憤を晴らすような熱戦を繰り広げてくれることを期待します。

最後に、本定期戦の開催に多大なるご尽力をいただいた両校の OB・OG ならびに関係者の皆さまに心より感謝申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

早稲田大学卓球部　部長　川島いづみ

今年も、早慶卓球定期戦を迎えることになりました。第77回、第78回と続いたコロナ禍の中での定期戦と異なり、今回は、緊急事態宣言から解放された状況で、定期戦を開催することができました。依然として活動が制約されている面はありますが、伝統ある定期戦にOB・OGの皆さまをお迎えすることができて、本当に喜ばしく存じております。早慶卓球定期戦の伝統が、コロナ禍を超えて受け継がれていくことは、両校卓球部の部員達にとって極めて意義深いものであり、本日の試合は、特に重要なものです。本定期戦の開催にご尽力くださいました両校関係者の皆さまに、改めて篤く御礼申し上げます。

今回も、両校の威信をかけて、白熱した試合が展開されるものと期待しております。最後に、いつも卓球部の選手達をご支援・ご指導くださいますOB・OGはじめ関係者の皆さまに心より感謝を申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

慶應義塾体育会卓球部　男子監督　小島　威裕

本日ここに、第 79 回早慶卓球定期戦を迎えることができたことを喜ばしく思います。

世間がウィズコロナで様々な活動の制限を最小にする動きが本格化し、学生卓球においてはようやくほぼすべての公式戦が開催されています。過去 2 年の深刻な状況においても、各段階において適切な対処を取りながら継続開催してきた本定期戦は、まさに「学生スポーツの先導者」にふさわしい役割を果たしてきたと言っても過言ではないと考えます。

過去 2 年で目標とする関東学生リーグ 1 部復帰に挑戦できなかった思いを胸に、塾男子卓球部は目標を高く持ち地道に活動を継続してきました。近年稀に見るほど、個々の選手は競技力を向上させています。春季リーグ戦では結果として示すこができませんでしたが、この伝統に一戦において花開くことを期して全力で臨む次第です。

最後に、本大会の開催に当たり、ご尽力いただいた早稲田大学卓球部関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

早稲田大学卓球部　男子監督　永山　健一

本日、第79回早慶卓球定期戦が開催されること、また、その関係者として関わることができることを誠に嬉しく思います。

現在も続く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、過去2年の77,78回大会は、無観客とかなり制限された開催となりました。感染状況が若干落ち着いている今回は、OBOGの皆さまにもお越しいただくことができ、まだ完全ではないものの定期戦は本来の形になったことは、大変喜ばしいことだと感じています。

今年度は春季関東学生リーグ戦も無事開催され、この早慶卓球定期戦の後にはインカレも控えています。インカレ・秋リーグに向けて、両校とも内容だけでなく、結果にもこだわり戦ってくれると思います。

結びに、開催にあたりご尽力いただきました慶應義塾大学卓球部および三田卓球会の皆さま、本学稲門卓球会の皆さまに厚く御礼申し上げます。

慶應義塾体育会卓球部　男子監督　薄井　宏章

本日、第 79 回早慶卓球定期戦を迎えることができ、誠に嬉しく、また諸先輩方が積み重ねてこられた伝統の重みを感じております。

塾女子部は、昨秋の関東学生リーグ戦にて 3 部ブロック 4 位という不本意な結果を受け、気持ちも新たに目標達成に向けた取り組みを一から積み上げました。その結果、秋季関東学生リーグ戦では 3 部ブロック 2 位を果たし、4 年ぶりのインカレ出場を決めることができました。春季リーグ戦を終えた今、この早慶定期戦は我々にとってさらなるステップアップに向けた試金石ととらえております。

本日は、学生トップクラスの早稲田大学に全力で挑戦し、1 つでも多くのことを吸収できればと思っております。伝統にふさわしい”熱い早慶戦”になることを期待しております。

最後に、本定期戦開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

早稲田大学卓球部　女子監督　川田　雄二

　伝統ある第79回早慶卓球定期戦が本日開催されますことは、誠に誇らしく嬉しく思っております。

昭和、平成そして令和と79回にわたり両校卓球部員が切磋琢磨し競いあってきた伝統の定期戦を、コロナ禍にありながらも開催することができ両校選手の記憶に残る熱き定期戦になることを願いつつ、正々堂々と清々しいそして品位ある戦いを期待したいと思います。

本定期戦が今後も受け継がれ、伝統を重ね歴史を刻んでいくことを願っております。

最後に、開催にあたりご尽力頂きました皆様に心より感謝申しあげます。

第 79 回早慶卓球定期戦を迎えて

慶應義塾体育会卓球部　男子主将　岡本 優一

まず初めに、今年もこの伝統ある早慶卓球定期戦が無事開催されますことに感謝の意を申し上げます。2 年前から始まったこのコロナ禍という時代においても、早慶卓球定期戦は途切れることなく開催されており、これは早慶の強い繋がりなくしては実現できなかったことと思います。今後もこの定期戦を通して両校の親睦が深まり、良い関係が末永く続いていくことを願っております。

最後に第 79 回早慶卓球定期戦の開催にあたり、ご尽力くださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

早稲田大学男子卓球部　男子主将　岩永 宜久

この度は伝統ある第 79 回早慶卓球定期戦を開催いただき誠にありがとうございます。

　　コロナウイルスの感染状況も徐々に落ち着きを見せ、無事に春季関東学生リーグを迎えることができました。練習ができる環境にあり、試合が開催されることへの感謝の気持ちを忘れずに、インカレ・秋季リーグも戦っていきたいと思います。

最後になりますが、伝統ある定期戦を迎えるにあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

慶應義塾体育会卓球部　女子主将　天野　佑理子

本日、伝統ある第 79 回早慶卓球定期戦が無事に開催されますことを、大変光栄に思います。つきましては、未だ収まらないコロナ禍におきまして開催に向けてご尽力くださった全ての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

慶應女子卓球部は現在 7 名で活動しており、チームとしては小規模ではありますが、卓球の技術向上とともにスポーツマンとしての成長を目指しております。学生卓球のトップとしてご活躍されている早稲田大学卓球部の皆様には、技術・スポーツマンシップ・チーム運営等多くを学ばせていただきたく思います。

最後にはなりますが、本定期戦を通じて伝統ある早慶の親睦が引き継がれ、両校卓球部が益々躍進することを心より願っております。

早稲田大学男子卓球部　女子主将　黒野 葵衣

この度は第 79 回早慶卓球定期戦が開催されますことに心より感謝申し上げます。まだコロナウイルスの感染拡大が完全に終息していない中、伝統ある本大会に参加できることを大変嬉しく思います。私自身、コロナ禍を通して練習や試合が開催されるありがたさを改めて感じました。今大会も感謝の気持ちが現れるようなプレーができるように最善を尽くします。

最後になりますが、今大会の開催にあたりご尽力いただいた方々、慶應義塾大学の選手や関係者の方々に感謝申し上げます。

大会次第

１０：００　　現役交流戦

１３：１５　開会式

部長挨拶　慶応義塾大学卓球部　部長　平野隆

早稲田大学卓球部　部長　川島いづみ

OB 挨拶　三田卓球会　会長　岡崎和夫

稲門卓球会　副会長　葛西順一

優勝旗返還　前年度優勝　早稲田大学

ペナント交換

選手宣誓　慶應義塾大学卓球部　男子主将　岡本優一

校歌斉唱

１３：３０　現役対抗戦

１６：３０　閉会式

優勝旗授与ならびに賞状授与

監督講評　慶應義塾大学卓球部　男子監督　小島威裕

早稲田大学卓球部　男子監督　永山健一

記念撮影

部員紹介

慶應男子

学年	役職	名前	出身校
4 年	主将	岡本 優一	桐蔭学園
4 年	副将	松尾 仁史	明大中野
3 年	主務	井芹 直哉	慶應義塾
3年		市川 隼秀	明大中野
3年		小島 拓海	慶應義塾志木
3 年		相馬 颯斗	攻玉社
3 年	副将	田坂 宗次郎	武田
3 年		渡辺 竜士	新潟
2年		川辺 旺慧	本郷
2年		友部 翔	川越
2年		屋代 和輝	埼玉栄
2年		吉田 裕喜	穎明館
1年		梅森 大輔	慶應義塾
1年		小川 由聡	慶應義塾
1 年		片庭 朋祐	明治学院
1 年		亀井 翔平	桐蔭学園
1 年		久保 将真	開成

慶應女子

学年	役職	名前	出身校
4 年	主将	天野 佑理子	田園調布雙葉
4 年	副将	富澤 いのり	豊島岡
3 年		松本 紗陽花	日本女子大附属
2 年		泉 知花	桜蔭
1年		大石 侑和	大阪教育大附属池田
1年		都島 悠花	お茶の水女子大附属
1年		前野 友花	豊島岡

早稲田男子

学年	役職	名前	出身校
4 年	主将	岩永 宜久	帝京安積
4 年		甚田 翔風	明大中野
4 年	副将	松本 累	早稲田実業
4 年	主務	宮木 宏輔	東山
3 年		柏 竹琉	EA/帝京
3 年		杉本 和也	希望が丘
2 年		荒井 和也	希望が丘
2 年	副務	儀間 望	桐朋
1 年		玉田 隼大	滝川
1 年		田村 真吾	早稲田
1 年		張 桐済	世田谷学園
1 年		中島 爽太	茗溪学園
1 年		濵田 一輝	愛工大名電

早稲田女子

学年	役職	名前	出身校
4 年	主将	黒野 葵衣	武蔵野
4 年		曽根原 睦	文大杉並
4 年	主務	中島 彩希	敦賀
4 年	副将	真鍋 雅	山陽学園
3 年		里川 奈優	明徳義塾
2 年		顧 琳婧	桜丘
2 年		杉田 陽南	香ヶ丘リベルテ
2 年	会計	福岡 乃愛	三田学園
1 年		深谷 和花	愛み大瑞穂
1 年		宮脇 心和子	鳥取敬愛

早慶戦・過去の戦歴

男子									
第N回	西暦	年号	早稲田	慶應	第N回	西暦	年号	早稲田	慶應
第1回	1942	昭和17年	6	3	第41回	1984	昭和59年	8	1
第2回	1943	昭和18年	3	6	第42回	1985	昭和60年	8	1
	1944	昭和19年	中止		第43回	1986	昭和61年	8	1
	1945	昭和20年			第44回	1987	昭和62年	7	2
第3回	1946	昭和21年	8	1	第45回	1988	昭和63年	7	2
第4回	1947	昭和22年	7 春 6 秋	2 春 3 秋	第46回	1989	平成元年	8	1
第5回	1948	昭和23年	6	3	第47回	1990	平成2年	8	1
第6回	1949	昭和24年	6	3	第48回	1991	平成3年	5	4
第7回	1950	昭和25年	7	2	第49回	1992	平成4年	8	1
第8回	1951	昭和26年	4	5	第50回	1993	平成5年	8	1
第9回	1952	昭和27年	7	2	第51回	1994	平成6年	7	2
第10回	1953	昭和28年	4	5	第52回	1995	平成7年	10	1
第11回	1954	昭和29年	6	3	第53回	1996	平成8年	10	1
第12回	1955	昭和30年	4	5	第54回	1997	平成9年	10	1
第13回	1956	昭和31年	4	5	第55回	1998	平成10年	11	0
第14回	1957	昭和32年	4	5	第56回	1999	平成11年	8	3
第15回	1958	昭和33年	5	4	第57回	2000	平成12年		
第16回	1959	昭和34年	4	5	第58回	2001	平成13年	7	2
第17回	1960	昭和35年	6	3	第59回	2002	平成14年		
第18回	1961	昭和36年	5	4	第60回	2003	平成15年	11	4
第19回	1962	昭和37年	6	3	第61回	2004	平成16年	7	0
第20回	1963	昭和38年	3	6	第62回	2005	平成17年	6	1
第21回	1964	昭和39年	5	4	第63回	2006	平成18年	5	4
第22回	1965	昭和40年	3	6	第64回	2007	平成19年	9	0
第23回	1966	昭和41年	9	0	第65回	2008	平成20年	9	0
第24回	1967	昭和42年	5	4	第66回	2009	平成21年	6	3
第25回	1968	昭和43年	8	1	第67回	2010	平成22年	9	0
第26回	1969	昭和44年	6	3	第68回	2011	平成23年	8	1
第27回	1970	昭和45年	2	6	第69回	2012	平成24年	8	1
第28回	1971	昭和46年	5	4	第70回	2013	平成25年	5	4
第29回	1972	昭和47年	4	5	第71回	2014	平成26年	6	3
第30回	1973	昭和48年	5	4	第72回	2015	平成27年	5	4
第31回	1974	昭和49年	5	4	第73回	2016	平成28年	8	1
第32回	1975	昭和50年	7	2	第74回	2017	平成29年	8	1
第33回	1976	昭和51年	9	0	第75回	2018	平成30年	8	1
第34回	1977	昭和52年	9	0	第76回	2019	令和元年	7	2
第35回	1978	昭和53年	7	2	第77回	2020	令和2年	7	2
第36回	1979	昭和54年	8	1	第78回	2021	令和3年	7	2
第37回	1980	昭和55年	9	0	勝数	早稲田		慶應義塾	
第38回	1981	昭和56年	6	3		67		11	
第39回	1982	昭和57年	7	2					
第40回	1983	昭和58年	8	1					

女子の戦績につきましては確認が必要な点が多々あるため、本年の掲載は控えさせていただきます。

慶應義塾塾歌

富田正文　作詞　　信時　潔　作曲

一、

見よ　風に鳴るわが旗を　新潮寄するあかつきの
嵐の中にはためきて　文化の護りたからかに
貫き樹てし誇りあり　樹てんかな　この旗を
強く雄々しく樹てんかな
あゝわが義塾　慶應　慶應　慶應

二、

往け　涯なきこの道を　究めていよゝ遠くとも
わが手に執れる炬火は　叡智の光あきらかに
ゆくて正しく照らすなり　往かんかな　この道を
遠く遥けく往かんかな
あゝわが義塾　慶應　慶應　慶應

三、

起て　日はめぐる丘の上　春秋ふかめ揺ぎなき
学びの城を承け嗣ぎて　執る筆かざすわが額の
徽章の誉世に布かむ　生きんかな　この丘に
高く新たに生きんかな
あゝわが義塾　慶應　慶應　慶應

早稲田大学校歌

相馬御風　作詞　　東儀鉄笛　作曲

一、

都の西北　早稲田の森に　聳ゆる甍は　われらが母校
われらが日ごろの　抱負を知るや　進取の精神　学の独立
現世を忘れぬ　久遠の理想　かがやくわれらが　行手を見よや
わせだ　わせだ　わせだ　わせだ
わせだ　わせだ　わせだ

二、

東西古今の　文化のうしほ　一つに渦巻く　大島国の
大なる使命を　担ひて立てる　われらが行手は　窮り知らず
やがても久遠の　理想の影は　あまねく天下に　輝き布かん
わせだ　わせだ　わせだ　わせだ
わせだ　わせだ　わせだ

三、

あれ見よかしこの　常磐の森は　心のふるさと　われらが母校
集り散じて　人は変れど　仰ぐは同じき　理想の光
いざ声そろへて　空もとどろに　われらが母校の　名をばたたへん
わせだ　わせだ　わせだ　わせだ
わせだ　わせだ　わせだ

団体記録用紙

オーダー用紙

大学名	大学	対	大学
W		～～～～～	
W		～～～～～	
3		～～～～～	
4		～～～～～	
5		～～～～～	
6		～～～～～	
7		～～～～～	
8		～～～～～	
9		～～～～～	

団体記録用紙

オーダー用紙

大学名	大学	対	大学
W		(- - - - -)	
W		(- - - - -)	
3		(- - - - -)	
4		(- - - - -)	
5		(- - - - -)	
6		(- - - - -)	
7		(- - - - -)	

メモ欄

メモ欄

メモ欄